



第71回 青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益財団法人全国学校図書協会議会・毎日新聞社 後援／文部科学省・こども読書100年アクションプラン推進委員会

読むこと、書くこと、自分を知ること。

＜毎日新聞社ニュースサイト＞ ＜全国学校図書協会議会＞ ＜問い合わせ＞
＜学校の先生、書店員さまへ＞（教材ダウンロードできます）

応募要項

課題図書

感想文
Q&A

入賞者・
作品紹介

締切・
問い合わせ

関連サイト

Special

応募要項

開催趣旨

対象図書

応募資格 および区分

用紙・字数

応募作品

作品提出

応募締切

作品と氏名等の 使用・公表

審査

入賞発表

表彰

表彰式

入賞・入選作品の 著作権・公表

受賞証明書に ついて

運営事務局

応募要項



本コンクール開催趣旨

◇子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。

◇より深く読書し、読書の感動を文章に表現することとおして、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

対象図書

◎課題読書……主催者の指定した図書（課題図書）。

※本サイト「課題図書」コーナーでご確認ください。同一部内における学年指定はありません。

◎自由読書……自由に選んだ図書。フレイション、ノンフレイションを問いません。

※教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。

※点訳・音訳を利用した読書の場合は、その理由および原本、音訳・点訳したものの情報を添えてご応募ください。

応募資格および区分

◇応募者の年齢は満20歳まで（2005年4月2日以降に出生の者）とします。応募者の在籍する校種等によって、応募を次の5部10区分とします。

- 小学校低学年の部（1、2年生）／課題読書・自由読書
- 小学校中学年の部（3、4年生）／課題読書・自由読書
- 小学校高学年の部（5、6年生）／課題読書・自由読書
- 中学校の部／課題読書・自由読書
- 高等学校の部／課題読書・自由読書

※特別支援学校はそれぞれの対応する部に、中等教育学校および中高一貫校の「前期課程」は中学校の部に、「後期課程」は高等学校の部に、義務教育学校はそれぞれの学年に対応する小学校の各部および中学校の部に応募してください。

用紙・字数

イメージキャラクター



●なまえ
おほんちゃん
(本の妖精)

●性格
好奇心旺盛で
空想大好き。
じつは絵の才能も…！

●趣味
読書
将来は本を作りたい！

●特技
最初の1行だけで本の
タイトルを言い当てる
ことができる。



水と生きる SUNTORY

◇原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の大きさ、字詰め
に規定はありません。

◇文字数については下記のとおりです。

- ・ 小学校低学年の部 (1、2年生) 本文 800字以内
- ・ 小学校中学年の部 (3、4年生) 本文1,200字以内
- ・ 小学校高学年の部 (5、6年生) 本文1,200字以内
- ・ 中学校の部 本文2,000字以内
- ・ 高等学校の部 本文2,000字以内

◇句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数え
ます。

◇題名、学校名、氏名は字数に数えません。

応募作品

◇日本語で書かれた作品に限ります。

◇課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつ応募できます。

◇個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。他の類似コンクールとの二重
応募は認めません。

◇盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。

◇入賞・入選作品は理由を問わず返却しません。

作品提出

さいたま市立海老沼小学校

◇本コンクールは学校を通じて応募いただくコンクールです。在籍校が本コ
ンクールに参加することによって応募が可能となります。したがって、個人
の方からの直接応募は受け付けておりません。なお、在籍校が本コンクール
に参加しているか不明な場合は、各在籍校へご確認ください。

◇作品は自筆のものを提出してください(コピー不可)。デジタル機器使用不
可。ただし、自筆が不可能でデジタル機器を使用する、または代筆となるな
どの場合は理由を添えてご応募ください。

◇別掲の応募票(コピー可)に必要事項をご記入ください。この応募票を基に
審査が行われます。記入もれや、誤った情報をご記入いただきますと、審査
ができない場合がありますので、正確にご記入ください。

◇ご記入いただいた応募票は、作品の一番上に貼付して、右肩をとしてくださ
い。

応募締め切り

校内締め切り 8月28日

◇締め切りは都道府県により異なります。詳細は在籍校の図書館の先生また
は、青少年読書感想文全国コンクールWebサイトに掲載の【問い合わせ先】
にお問い合わせください。

作品と氏名等の使用・公表

※ご了承のうえ、ご応募ください。

◇応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表す
ることがあります。

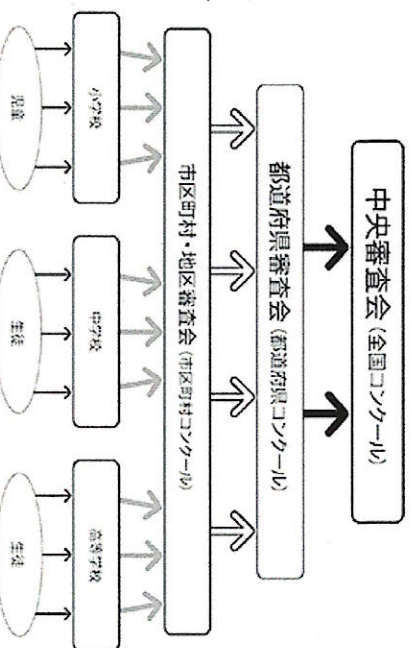
◇入賞・入選された方の応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は主催者の刊行物やWebサイトで公表します。また、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、教材等各種媒体で使用・公表することがあります。

◇上記公表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがあります。

審査

◇応募作品の審査は、都道府県審査を経て、中央審査会へと段階的に行われます。

〔段階的審査の例〕



※都道府県によって、本応募要項の他に規定を設けている場合があります (指定原稿用紙の有無、原稿用紙の使い方、提出方法など)。詳細は在籍校にご確認ください。

◇都道府県審査会において各部ごとに優秀作品を選び、各部課題読書1編、自由読書1編を中央審査会に送付します。

◇中央審査会は東京において、小・中・高等学校関係者および学識経験者 (甲斐雄一郎・文教大学教授、川北亮司・児童文学作家ほか、以上予定) などで構成する委員会で行います。

◇海外日本人学校、補習授業校、私立在外教育施設からの作品は、全国学校図書館協議会で受け付けます。(現地校のみの在籍者の応募は受け付けません。) この締め切りは2025年9月30日(火)まで (全国学校図書館協議会必着) とします。

入賞発表

◇在籍校を通じ、本人あてに通知します。同時に、2026年2月『毎日新聞』、『毎日小学生新聞』、『学校図書館』および『学校図書館速報版』紙上で発表します。

表彰

◇本人には個人賞を、在籍校には学校賞を贈呈します。

《個人賞》

◎内閣総理大臣賞 (最優秀作品)
課題読書、自由読書を通じて各部1編。賞状およびブロンズ像。

◎文部科学大臣賞（優秀作品）

課題読書、自由読書を通じて各部1編。賞状および盾。

◎毎日新聞社賞（優秀作品）

課題読書、自由読書を通じて各部5編。賞状および盾。

◎全国学校図書館協議会長賞（優良作品）

課題読書、自由読書を通じて各部6編。賞状および盾。

◎サントリー奨励賞（奨励作品）

課題読書、自由読書を通じて各部10編以内。賞状および盾。

◎入選賞（入選作品）

上記の最優秀、優秀、優良、奨励作品を除く都道府県代表として認められた作品。賞状およびオリジナル図書カード。

《学校賞》

◎内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞、全国学校図書館協議会長賞、サントリー奨励賞を受賞した児童生徒の在籍校へ、賞状、盾およびサントリー学校賞。

入賞・入選作品の著作権・公表

◇入賞・入選作品の著作権は、選出と同時に主催者に譲渡されます。ただし、本人および在籍校の利用は妨げません。

◇最優秀作品、優秀作品、優良作品、奨励作品は入賞作品集「考える読書」（毎日新聞出版刊行）に掲載されます。

表彰式

◇2026年2月上旬、最優秀・優秀・優良作品の入賞者本人と在籍校の学校代表および奨励作品・入選作品の代表者を招待して、東京で表彰式を行います。
※国外在住の入賞者については旅費の一部を負担します。

受賞証明書について

◇内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞、全国学校図書館協議会長賞、サントリー奨励賞の受賞者が希望した場合、受賞証明書を発行します（送料実費）。詳細は入賞発表通知であらためてお知らせします。

青少年読書感想文コンクール運営事務局

※作品送付先ではありません

◇公益社団法人 全国学校図書館協議会

〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目17-1 湯島大同ビル

Tel. 03-6284-3722（代） Fax. 03-6284-3725

◇毎日新聞社 青少年読書感想文全国コンクール事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館

毎日企画サービス

Tel. 03-6265-6813 Fax. 03-6265-6837



地方審査によっては、応募要項のほかに規定を設けていて、
本応募票が必要ない場合や別の応募票が必要な場合があります。
必ず在籍校にご確認ください。

記入前にご確認ください

- 1 この応募票は応募者本人、保護者が記入してください。
- 2 わかりやすく楷書で記入し、作品の一番上に貼付し、右肩をどってください。
- 3 「対象図書」欄は対象図書を特定するため、もれなく記入してください。審査会では対象図書を参照します。
- 4 記入もれや、誤った情報は審査ができない場合がありますので、正確に記入してください。
- 5 応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。ご了承のうえ、記入してください。

※提出は在籍校へお願いします



応募票

応募区分	課題読書 自由読書 (○で囲んでください)
------	-----------------------------

感想文の題名					
所 属	学校名 (ふりがな)	都 部		区 町 村	
	学校所在地・担当者名 (電話番号は市外局番から記入してください)	(〒337-0032) (電話) 048-686-2125 (所在地) 埼玉県さいたま市見沼区東新井 710-5 (担当者名) (E-mail)			
応募者	部・学年	小低・小中・小高・中学・高校	学 年	年	
	氏 名 (ふりがな)	()	生年月日・年齢		
書 名 ※サマネイルも必ずご記入ください					
著者・编者・訳者・画家					
シリーズ名・文庫名					
対象図書(読んで本)	発行所・発行年	発行所	発行年	年	
	定価・大きさ・ページ数	定 価	大 小	縦の長さ cm	ページ数
感想文執筆に際し 参考にした資料の有無 (どちらかを○で囲んでください)		有 ・ 無	(参考にしたもののタイトルやWebアドレス等を具体的に記入してください)		
応募作品と応募票に記入した情報を公表することがあります。 すべてご同意いただいたうえで、チェック ☒ を入れてください。 ☐ 了承します					

※点線で切り取って作品に添付してください。
※本票はA4用紙で印刷されることを想定して作成しています。

応募票クリップ止め

原稿用紙の1枚目の1行目から本文を書くようにご指導ください。
作品に表紙は不要です。
コピーした原稿用紙の使用は失格です。

作品は二つ折りしたものを重ねて、応募票とともにクリップで止めてください。

『書名』
著者名(出版社名)

どちらの内容も枠
外余白部に記入

『西の魔女が死んだ』
梨木果歩(新潮文庫)

自由 「自分の舟」 六年 桜井 翔

課題・自由のどちらか
「感想文の題名」
学年 名前

※「地区名・一覧表No」を原稿用紙に記入
例 地区名(秩父) 一覧表No(2)の場合
作品が2枚なので2-1、2-2となる

★こちらの票をもとに、全国への出品応募票を作成します。
はつきりとわかりやすくもれないように記入してください。
鉛筆の場合は、**濃く**記入してください。

記入前にご確認ください

1. この応募票は応募者本人、保護者が記入してください。
2. 右の欄から必ず「希望して記入し、作品の一番上」に貼付し、右欄をどけてください。
3. 「対象年齢特選期」は対象年齢を特定するため、必ず「記入」してください。審査会では対象年齢書を参照します。
4. 記入もれや誤りの罰銀は審査会でできない場合がありますので、正確に記入してください。
5. 応募作品・題名・対象年齢等、および応募者氏名・学校名・学年は、必ず書く必要があります。



課程設計
自由說書

感想文の題名			
所 属	学校名 (ふりがな) 学 校 名	立	部
学校所在地・担当者名 (電話番号は別紙に記入) (ふりがなを記入してください)	(〒) (市町村) () (代表) (所在地) (担当者名) (e-mail)		
応 募 者	部・学年 (ふりがな) 氏 名	小浜・小中・小高・中学 高校	学 年 年 月 日 生 (歳)
対象図書(読んだ本)	書 名 (冊数) 著者・編者・訳者・画家		
	シリーズ名・文庫名		
	発行所・発行年		
	定価・大きさ・ページ数		
感想文執筆に際し 参考にした資料の (ふりがなを記入してください)	有・無		
応募作品は応募時に記入した名前を公表することはありません。 すべてご同意いただいた方のみでなければなりません。			☐ 了承します

奥付を見て正確に記入してください。

忘れずに記入してください。

膨れずじりていた。

問い合わせが必要な場合があります。
必ず記入してください。